

2022年3月31日

各 位

「GXリーグ基本構想」への賛同について

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、経済産業省が公表した「GX^{※1}（グリーントランスフォーメーション）リーグ^{※2}基本構想」への賛同を表明しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

○賛同表明の背景・目的

GXリーグ参画企業には、世界全体のカーボンニュートラルの実現に向けて、高い排出量削減目標を掲げつつ、カーボンニュートラルにいち早く移行するため挑戦すること、および様々なステークホルダーと協働しつつ変革に向けた取組みを進めていくことが求められます。

当行は、「潤いと活力ある地域の明日を創る」という企業理念のもと、「環境方針」を制定し、2021年2月には、TCFD^{※3}（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明して、その枠組みに沿った情報開示に取り組んでいます。

地域社会へ重大な影響を及ぼす気候変動は、当行にとってリスクである一方、新たな事業機会を創出する重要な経営課題の一つとして捉え、お客さまの再生可能エネルギー事業への投資や環境負荷低減に資する設備投資等を積極的にご支援し、ファイナンス面から、お客さまの温室効果ガス排出量削減やエネルギー効率向上に寄与し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

また、気候変動対策コンサルティング等、非金融面においてもお客さまの脱炭素化をご支援するソリューションを提供し、気候変動に強い地域づくりと持続可能なビジネスの構築に向けた取組みを開始しています。

このような、当行の気候変動に関する取組姿勢と、「GXリーグ」の趣旨が合致していることから、「GXリーグ基本構想」の考え方に賛同することとしました。

当行は、今後も、自社が排出する温室効果ガス削減にとどまらず、地域全体のカーボンニュートラルに向けた取組みを強力にサポートすることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

（※1）グリーントランスフォーメーションの略称。カーボンニュートラルにいち早く移行するために必要な経済社会システム全体の変革を意味する成長戦略のこと。

（※2）GXに取り組む企業群が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレーヤーとともに、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場。

（※3）2015年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された金融システムの安定化を図る作業部会。異常気象等気候変動の物理的影響や脱炭素経済への急激な移行等が、金融システムの安定を脅かす恐れがあるとして、すべての企業に対し、①複数の気候シナリオを用いて、②自社の気候関連リスク・機会を評価し、③経営戦略・リスク管理へ反映させ、④その財務上の影響を把握し、開示することを求めている。

以上